

## ビジョン策定の背景・目的

- 北陸港湾の中長期政策の変遷
- 港湾の中長期政策「PORT2030」の策定
- 計画期間

## 北陸港湾を取り巻く情勢・課題

### 1. 社会情勢の変化

- 東アジア・東南アジア圏の経済成長と貿易活発化、グローバルサプライチェーンの深化
- 東南アジアをはじめとする新興市場の拡大と生産拠点の南下
- 農林水産品の輸出拡大
- 第4次産業革命の進展
- 生産年齢人口減少と物流における労働力不足の顕在化
- 資源エネルギー需要の変化
- 北極海航路の本格利用に伴う資源の調達先や輸送ルートが多様化
- 低炭素化社会への移行、再生可能エネルギーへの注目
- 自然災害の激甚化・頻発化
- 地球温暖化による気候変動と災害リスクの増大
- 太平洋側港湾被災時の広域バックアップ体制構築の必要性
- インフラの老朽化
- 訪日外国人旅行者の増加とクルーズ市場の拡大
- みなとオアシス等、港湾における賑わい空間の発展
- SDGsへの貢献
- 新型コロナウイルス感染症拡大による影響

### 2. 北陸地域の特徴

- 地理的優位性
- 歴史
- 経済・産業立地動向
- 交通インフラ整備状況
- 北陸各県の貨物流動
- 観光
- 自然災害

### 3. 北陸港湾の現状

- 取扱貨物量の動向
- 就航航路
- 外貿コンテナ貨物の特徴（海外トランシップ、北陸港湾利用率）
- 離島航路
- 港湾計画策定・改訂状況

## 北陸港湾の目指すべき姿 ～日本海における広域的交流拠点の形成と2面活用型国土の実現～

### 物流 地域経済の成長力を底上げする物流の多様化・高度化

#### ■ グローバルサプライチェーンを支える海上輸送網の構築 ～現代版北前船構想の実現～

- 航路多元化の検討（ダイレクト航路創設、SLBの活用可能性等）
- より広範囲な背後圏からの集貨の検討
- 日本海側港湾との連携による集貨の検討（集貨航路の構築、鉄道・道路との連携、東北・山陰・北部九州の港湾との連携等）
- 国際コンテナターミナル利便性向上のための施設整備、ふ頭集約・再編
- 背後地の流通加工機能の強化
- 近傍の物流施設等とのシームレスな接続
- 農林水産品輸出促進のための小口貨物の集荷・混載体制の確立
- Colinsの活用推進、港湾関連データ連携基盤の構築

#### ■ 持続可能で新たな価値を創造する高度な国内物流体系の構築

- 内航ユニットロードターミナル利便性向上のための施設整備、ふ頭集約・再編
- 最新物流施設への転換による「次世代高規格ユニットロードターミナル」の具体化（自動係留装置、シャーシ管理の電子化、高効率ゲート、高層シャーシ置き場等）
- 背後地の流通加工機能の強化（再掲）
- 近傍の物流施設等とのシームレスな接続（再掲）
- 新たな内貿ユニットロード輸送航路の可能性検討
- より広範囲な背後圏からの集貨の検討
- 離島航路の利用促進、老朽化施設の更新

### 産業 地域産業を支える日本海側エネルギー拠点の形成・循環型社会の構築

#### ■ 日本海側の資源エネルギー受入・供給等の拠点形成・機能強化

- 北陸の産業競争力強化に資する港湾施設整備、ふ頭集約・再編
- LNGやバイオマス等多様なエネルギー受入環境の整備
- 地政学的・災害リスクに備えた資源エネルギーの調達先・輸送ネットワーク多様化の検討
- LNGバンカリング拠点形成の検討

#### ■ 港湾・物流活動のグリーン化による地球環境への負荷の軽減と環境の改善

- 「カーボンフリーポート」実現に資する取組推進
- 北陸管内での洋上風力の促進区域指定、拠点港の可能性検討
- 北陸地域における水素エネルギーの活用検討
- LNGバンカリング拠点形成の検討（再掲）
- リサイクルポートの活用・機能強化

### 防災 自然災害から国民のいのちと暮らしを守る 北陸港湾の強靱化

#### ■ ハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策の確立

- 防波堤の粘り強い構造化、ネットワークを意識した岸壁・臨港道路等の耐震化、海岸浸食対策等の施設整備
- フェリー・RORO船等の就航環境整備による物流網のリダンダンシー確保
- 気候変動による海面水位の上昇等を踏まえた港湾計画等の見直し
- 港湾BCPの実効性確保、協力体制の強化
- 情報通信技術を活用した被災情報収集・共有システムの構築
- リサイクルポートの活用・機能強化（再掲）
- 浚渫兼油回収船等の港湾業務艇の活用
- 避難港の機能強化

#### ■ 太平洋側での災害発生時の広域的なバックアップ体制の確保

- 代替輸送訓練の実施・拡大
- 代替輸送ルートの検討（各港の役割分担等含む）
- フェリー・RORO船の受入環境整備、航路の維持・拡大
- 荷さばき地等の整備による港湾における代替機能確保

### 維持管理 スマートインフラによる 持続可能な維持管理の実現

#### ■ 港湾建設・維持管理技術の変革等によるスマートな維持管理の実現

- 維持管理計画等に基づく維持管理・更新の実施
- 老朽化施設の統廃合・機能強化
- 長期的な維持管理コストの縮減（浚渫土砂の抜本的解決等）
- 港湾分野のi-Constructionの推進：新技術の開発・活用による港湾建設・維持管理等の効率化・生産性向上（港湾建設におけるCIM等の先進技術の利用推進、IoT・ロボット等を活用した点検業務の効率化・迅速化等）
- 港湾建設における働き方改革や若年技術者への技術伝承

### 観光 多様なニーズに対応したクルーズ振興と 地域連携による“楽しいみなと”づくり

#### ■ 地域資源を活かし多様なニーズに対応したクルーズ振興の促進

- 関係者と連携したポートセールスの実施、多様なクルーズ商品の形成促進
- 多様な交通モードと連携したクルーズ航路の形成
- 背後市街地と連携した受入環境整備、港湾機能の充実
- 大水深が不要なラグジュアリー船をターゲットとした誘致
- 地場産品購入促進、農産品輸出促進
- ガイドラインに則った新型コロナウイルス感染症への対応

#### ■ 地域と連携した交流拠点の形成による“楽しいみなと”づくり

- 背後市街地と連携した魅力的なウォーターフロントの形成
- みなとオアシスを核とした地場産品振興やクルーズイベントの開催
- 産業観光の促進



○ビジョン実現のためには、官民が連携した日本海側の国際・国内海上輸送に関する議論の場・プラットフォームの構築等、多様な主体との連携・協力による取組の推進が重要。